

鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の①評価の割合が低いことがまず課題である。日々の教育活動においてそれほど意識していなかったということの結果と考えられる。学校教育の根幹である「教育目標」や「教育方針」を常に意識し日常の教育活動にあたる必要がある。また、生徒育成のために連携・協力していくべき家庭・保護者に教育目標・教育方針が十分に伝わっていない現状が明らかになった。この点が2つ目の課題である。</p>
	生徒	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。		<p>課題解決への方策</p> <p>教職員については、自己評価シート作成時にしっかりと「教育目標」の具現化のため「教育方針」に沿った取組を考えるよう共通理解をより深めていく。個々の面談でもそれらのことを確認していく。保護者へは、保護者会や各種便りなどの機会をとらえ周知を図っていくとともに、「教育目標」達成のための家庭への具体的な協力をお願いなどをこれまで以上に発信していく。</p>
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標、教育方針、重点がとても詳細に設定されているので、様々な機会をとらえて発信し周知を図ってほしい。クイズ形式で思い出させるようにしてみてもよいのではないか。</li> <li>・教育目標や教育方針について、1つずつ具体的な取組を積み重ねていき、また家庭や地域にも明確な協力方法を示すなどして周知と協力を広げられるとよい。</li> <li>・学校教育目標をテストに出して生徒に覚えさせてみるのもよいのではないか。</li> </ul>
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。		

鶴ヶ島	中学校	評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答
-----	-----	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、生徒のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。		<p style="text-align: center;">評価結果 についての 分析・課題</p> <p>教職員と生徒の肯定的評価が9割を超えているのに対し、保護者のそれは85%を下回っている。子供のよさや可能性を發揮できる指導が行われていないと感じる保護者が少なからずいることに注目すべきである。また否定的回答をしている6%の生徒にもきちんと目を向け、相談活動や個を活かす指導を充実させていく必要がある。</p>
	生徒	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。		<p style="text-align: center;">課題解決 への方策</p> <p>まず生徒や保護者の話に耳を傾け、どのような対応ができるのか相談していく姿勢を持つことが第一歩である。相談を経て、可能な中でできることを実行していくことから始めたい。とたく生徒の欠点や課題点に意識が行きがちであるが、一人一人の生徒のよいところを書きだしたり学年で共有したりすることに意識的に取り組むなどしたい。</p>
	保護者	②学校は、生徒のよさや可能性を發揮できる学級づくりをしている。		<p style="text-align: center;">学校関係者 評価委員 会による 評価</p> <p>・学級経営について悩んでいる先生もいるかもしれないので、それについて意見を交わしたり研修する場があってもよいのではと思う。                  ・教室や廊下の掲示物を通して、生徒の活動や成果が披露されていてよいと感じる。そのような取組を通じて一人一人の生徒を伸ばし、素晴らしい鶴中生の育成に取り組んでほしい。</p>
	地域	②学校は、生徒のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。		

鶴ヶ島	中学校	評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答
-----	-----	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学 習 指 導 ①	教職員	③私は、生徒が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。		<p><b>評価結果についての分析・課題</b></p> <p>この項目については肯定的評価がどの対象でも9割以上であり、いわゆる「学び合い学習」を取り入れた授業が展開され、生徒が主体的に授業に取り組み学んでいる様子がうかがえる。特に授業の主体である生徒については①評価が50%を超えており、生徒同士の学び合いにより学習が進んでいる様子がわかる。 保護者の①評価が約1/4なので、もっと授業を参観していただく機会を増やすことが課題である。</p>
	生徒	③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。		<p><b>課題解決への方策</b></p> <p>これまで同様、校内研修などで「学び合い学習」についての研究を進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けたより効果的な授業展開を探っていく。また各種学力調査の結果を分析し、本校生徒の良い面と課題点を明確にし、その解決に向けた取組を組織的に行う体制を作っていく。</p>
	保護者	③学校は、生徒が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。		<p><b>学校関係者評価委員会による評価</b></p> <p>・これまで長年取り組んできた「学び合い学習」のスタイルが定着していると感じる。生徒たちの積極的な意見交換による学びは大切なことだと思う。 ・落ち着いた雰囲気の中で学習ができています。生徒一人一人がお互いを尊重しながら意見交換をしており、教員の指導も行き届いている。 ・今後も「学び合い学習」を推進し生徒の学力向上につながる授業改善に努めてほしい。</p>
	地域	③学校は、生徒が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。		

鶴ヶ島	中学校	評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答
-----	-----	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導②	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>この項目については、教職員の肯定的回答が最も低くなっている。コロナ禍を経て生徒に1人1台端末が支給されるなど学習環境も劇的に変化している。ICTを使いこなすことを苦手に行っている教職員もいるが、時代の変化に合わせ学び続けていかなければならない。個人任せにせず学校全体で研修を行い船体のスキルアップを目指す必要がある。</p>
	生徒	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。		<p>課題解決への方策</p> <p>校内研修として、ICT活用のスキルアップを目的とした取組を、年2回は行う。 GIGAスクール推進委員会を中心にICTを活用した授業を公開し、その効果的な利用の仕方を学ぶ機会を作る。</p>
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・大型モニターを使ったわかりやすい授業が展開されている。 ・1人1台のタブレットを使って個々の興味・関心に合わせた学習が進められている。今後もより効果的な使い方や授業展開など工夫して行ってほしい。 ・タブレット使用のための資料作りが先生方の負担になっていなければよいが…。タブレット使用で漢字離れが懸念されるので、使い方(使わせ方)に工夫が必要だと思う。</p>
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。		

鶴ヶ島	中学校	評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答
-----	-----	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>この項目における生徒の回答は①評価が多い反面、③④の否定的評価も比較的多くなっている。いわゆる二極化の様相を呈しているようである。充実した学校生活を送るうえで、体力も重要な生きる力である。体を動かすことが好きでない生徒も一定数いるが、どのように体力をつけさせていくか工夫していくことが課題である。</p>
	生徒	⑤私は、体育や休み時間・部活動等で、校庭や体育館などでいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。		<p>課題解決への方策</p> <p>保健体育科の授業改善はもとより、授業でない時間(昼休み等)に体を動かせる機会や場所の確保に努めていきたい。現在も実施している「昼休みの体育館開放」を続ける。またその活動を利用したイベント(〇〇大会や発表会)なども仕掛けていきたい。</p>
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テスト等の結果はどうなのでしょう。課題を明らかにしその解決に向けた取組を工夫することが大事だと思う。</li> <li>・体育祭での生徒の活動をみて、体力面だけでなく精神面も成長していると感じ、感動した。</li> <li>・体力や健康は子供の成長にとっても大事な要素であると思う。新聞やニュースで取り上げられていることにも関心がある。生徒への啓発や指導が大事だと思う。機会をとらえて指導してほしい。</li> </ul>
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。		

鶴ヶ島	中学校	評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答
-----	-----	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導①	教職員	⑥私は、生徒の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。	<table border="1" style="display: none;"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>①</td><td>31%</td></tr> <tr><td>②</td><td>66%</td></tr> <tr><td>③</td><td>3%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	Category	Percentage	①	31%	②	66%	③	3%	④	0%	⑤	0%	<p><b>評価結果についての分析・課題</b></p> <p>教職員の肯定的評価が95%を超えているのに対し、生徒・保護者のそれはそれぞれ89%・80%となっている。教職員は全体的に家庭と連携・協力して対応していると考えているが、個別のケースについて生徒や保護者はそのように対応されていないと思っていることの表れと考えられる。教職員と生徒・保護者の認識のズレがあることを常に念頭におき、丁寧な対応を心がける必要がある。</p>
	Category	Percentage														
	①	31%														
	②	66%														
③	3%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生や保護者に相談し、一緒に解決しようとしている。	<table border="1" style="display: none;"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>①</td><td>55%</td></tr> <tr><td>②</td><td>34%</td></tr> <tr><td>③</td><td>8%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	Category	Percentage	①	55%	②	34%	③	8%	④	2%	⑤	0%	<p><b>課題解決への方策</b></p> <p>生徒や保護者からの相談は、些細な事にとらえずまず話をよく聞く、という姿勢を常にもつ。忙しい中ではあるが、迅速に対応する。経過報告や対応結果をこまめに行う。記録をとる。学年内や場合によっては学校全体での情報共有を確実に行う。上記のような、これまでやってきたことを再確認し徹底していく。スマホ等でのトラブルなどは、家庭との役割分担を明確にする必要もあると思われる。</p>	
Category	Percentage															
①	55%															
②	34%															
③	8%															
④	2%															
⑤	0%															
保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<table border="1" style="display: none;"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>①</td><td>19%</td></tr> <tr><td>②</td><td>61%</td></tr> <tr><td>③</td><td>16%</td></tr> <tr><td>④</td><td>4%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	Category	Percentage	①	19%	②	61%	③	16%	④	4%	⑤	0%	<p><b>学校関係者評価委員会による評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、いじめ問題については積極的に取り組んでいると思う。</li> <li>・非行防止教室や講話などを今後も実施し、注意喚起や正しい知識を伝えることなど取り組んでほしい。</li> </ul>	
Category	Percentage															
①	19%															
②	61%															
③	16%															
④	4%															
⑤	0%															
地域	⑥学校は、生徒の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<table border="1" style="display: none;"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>①</td><td>59%</td></tr> <tr><td>②</td><td>35%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	Category	Percentage	①	59%	②	35%	③	6%	④	0%	⑤	0%		
Category	Percentage															
①	59%															
②	35%															
③	6%															
④	0%															
⑤	0%															

鶴ヶ島	中学校	評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答
-----	-----	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導	教職員	⑦私は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		<p><b>評価結果についての分析・課題</b></p> <p>この項目についても保護者の肯定的評価が他の対象に比べてかなり低い。わが子のよさや成長、悩みなどを受け止めてもらえていないと感じている保護者が1/5ほどいる。一人ひとりのよさや成長を家庭にしっかりと伝える機会を設けるとともに、教職員が生徒のよさや成長を意識的にとらえる姿勢を持つ必要がある。</p>
	生徒	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。		<p><b>課題解決への方策</b></p> <p>校務支援システムの「生徒のいいところみつけ」の機能を活用し、各教員が気づいた生徒の「いいところ」を記録していく。そうすることによって教職員が生徒のよさや成長に目を向けるきっかけにしていく。また他の教員が書き込んだことを見ることで、新たな発見があるとも考えられる。三者面談や二者面談の機会に必ず生徒の成長やよいところを伝える。生徒の悩み等については家庭と連携し解決を図っていく。</p>
	保護者	⑦学校は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		<p><b>学校関係者評価委員会による評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係がうまくいかなかったりする数%の生徒の悩みやサインを見逃さないようにし、情報共有のもと指導をお願いしたい。</li> <li>・学校内での暴力などはないと思っている。しかし個々の悩みをどのように解決し乗り越えさせるかが難しく、家庭との連携が重要になると思われる。</li> <li>・指導とフォローのバランスを考えてほしい。がんばっていることが認められず悩んでいる生徒もいるようだ。子供(生徒)に対しても心配りは必要だと思う。</li> </ul>
	地域	⑦学校は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		

鶴ヶ島	中学校	評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答
-----	-----	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		評価結果についての分析・課題 この項目についても教職員の肯定的評価と保護者のそれが大きく乖離している。わが子の特性を理解してもらえていない、家庭との連携が十分でない、個に応じた指導がなされていない、と感じている保護者が3割もいる現状である。個に応じた指導については学校としてできることとできないことがあるが、少なくとも生徒・保護者とよく相談し連携を深めていく意識を常に持つ必要がある。
	生徒	⑧私は、苦手なことなどを、先生や保護者に相談し、一緒に解決しようとしている。		課題解決への方策 学校生活の中で見られる生徒の特性、保護者が感じている子供の特性などの情報交換を三者面談や保護者会で行い、その情報を学年や学校全体で共有するシステムをつくる。校務支援システムの「いいとこみつけ」に情報を蓄積することで対応していきたい。 こまめに保護者と連絡をとり解決策・対応策を協議することも必要不可欠である。
	保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		学校関係者評価委員会による評価 ・特別支援教育に関する取組はしっかり行われていると思われる。福祉体験授業や教科の学習を通して知識・理解が進められていると思う。 ・学校は生徒の得意なことを見出し、それを伸ばしていくよう指導していると感じる。 ・生徒一人一人の特性を理解し、個別に対応していくことは現実的にはなかなか難しいが、家庭と連携しできることをできる範囲で行っていく努力、姿勢はなくてはならないと思う。
	地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		

鶴ヶ島	中学校	評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答
-----	-----	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
地域とともにある学校	教職員	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>この項目も保護者の肯定的評価が低くなっている。「地域とともにある学校づくりに協力している」の文言がYesと答えにくくしていると思われる。両親とも仕事をしている家庭が多く、忙しさの中で学校の活動に協力することが容易ではない状況がある。保護者が参加しやすい活動のあり方を工夫し参加者数を増やしていく努力をしたい。</p>
	生徒	/		<p>課題解決への方策</p> <p>土曜公開授業の確実な実施とその内容の工夫を行い、保護者が学校へ足を運んでよかったと思うような公開日にする。 またその際に感想・アンケートなどの実施により保護者の意見や考え、要望等を把握することに努める。</p>
	保護者	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が参加しやすい環境をつくとよいと思う。調理実習の見守りに行っても挨拶もされないのでは次回から行く気にならなくなってしまう。そういったところに気を配る必要があると強く思う。</li> <li>・学校再編も進む中、地域の力の活用も積極的に行ってほしい。</li> <li>・生徒はボランティアや自主活動に積極的で、地域貢献できていると思う。素直で思いやりのある生徒たちが多く、地域の人も褒めている。</li> <li>・登下校中の交通事故が心配である。危険箇所等を地域の目でも発見し、安全な通学のために貢献したい。</li> </ul>
	地域	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		

鶴ヶ島

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	<table border="1"> <caption>評価結果の分析</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	割合	①	41%	②	45%	③	7%	④	7%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価が85%ほどであった。おおむね働き方改革の目的を理解し、一人一人が業務改善に積極的に取り組んでいると考えられる。やったほうがよいことは山のようにあるが、学校がすべきことの優先順位を明らかにし、家庭や地域と連携しながら大切なことに注力する意識を持つことが必要であろう。</p>
	評価項目	割合														
	①	41%														
	②	45%														
③	7%															
④	7%															
⑤	0%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>出退勤の管理をしっかり行い、超過勤務が月45時間を超える職員がでないようにする。そのためには各教職員が自分の仕事に優先順位をつけ計画的に業務を行うようにする。 また校務用PC内にデータを保存し誰でもこれまでの資料にアクセスできる体制づくりを進めていく。</p>													
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援団や地域が行事等に協力できる部分もあると思うので、積極的に情報や依頼を発信してほしい。</li> <li>・家庭の問題や発達障害、不登校、いじめ問題に親対応等々、課題ややることは山積みの中、先生方の負担を減らせたらと思う。現場の声を聞き適正な働き方改革を望む。</li> <li>・無償でもいいから部活に関わりたいと思っている親もいるのでは？部活動の手伝いをボランティアで募ってみてはどうだろう。</li> </ul>													
地域																